

ひと、ホット、ほっと!



令和5年10月

川越市教育委員会地域教育支援課

各地区で充実した事業を展開

今年の夏は、記録的な猛暑が続き、感染防止対策とともに、熱中症予防にも配慮しながら、各地区で子どもサポート事業を進めることとなりました。

各地区で、予定どおり事業を実施することができました。さらに、新しい事業を立ち上げた地区もありました。

2学期以降も、各地区の特色を生かした子どもサポート事業が工夫を凝らして実施され、学校や地域で子どもたちの生き生きとした姿が見られるよう、ご協力をお願いいたします。

「ひと、ホット、ほっと!」No.64では、本事業に係る会議、「学校・家庭・地域の連携」に関わる研修会等、および各地区の活動の様子についてお知らせします。

第2回 川越市子どもサポート本部会議が開かれました

令和5年7月19日(水) 18:00より、川越市大東市民センターで、令和5年度第2回川越市子どもサポート本部会議を開催しました。

「川越子どもサポート発表会」と子どもサポートコンクール「小江戸見つけ隊」の作品審査及び作品展示会を円滑に実施するため、運営部会・審査部会・展示部会の3つの部会それぞれの活動内容と実施方法について話し合い、内容を詰めました。

2月3日(土)の「川越子どもサポート発表会」(やまぶき会館において)では、山田地区と中央北地区に代表で活動発表をしていただくことになりました。

また、今年度は、作品展示会(市立美術館において)の準備を、2月14日(水)と15日(木)の2日間で集中して行い、各地区サポート委員会から2名ずつ協力していただくことになりました。どうぞよろしくお願いいたします。



実行委員会組織(敬称略)

- 実行委員長 遠藤 克弥
- 副委員長 村上 重仁(審査部会リーダー)
- 奈良 明英(運営部会リーダー)
- 中島 利一(展示部会リーダー)

さらに、各学校と各地区子どもサポート委員の皆様にご協力いただいたアンケート結果を受けて、これからの子どもサポート事業の在り方を検討するための専門部会を設置することになりました。今年度、4回程度開催し、検討を重ねていく予定です。

子どもサポートコンクール「小江戸見つけ隊」 たくさんの作品応募まことにありがとうございました

子どもサポートコンクール「小江戸見つけ隊」の作品募集は、9月29日(金)をもって締め切りました。地域のよさやすばらしさを作文や絵画、新聞に表現した数多くの作品が届きました。まことにありがとうございました。

このあと、応募された作品を部門ごとに、小学校低学年の部(小1~小3)と小学校高学年の部(小4~小6)、中学生の部に分けて、審査部会において審査をしていきます。

【作品の展示について】

○入選作品 令和6年2月3日(土) 9:30~12:00

川越子どもサポート発表会会場(やまぶき会館)

○全応募作品 令和6年2月16日(金)~2月18日(日) 川越市立美術館



『子どもサポートコンクール「小江戸見つけ隊」展示会』

令和6年2月16日(金) 13:00~17:00

令和6年2月17日(土) 9:00~17:00

令和6年2月18日(日) 9:00~15:00

<<2月18日(日)は、入場は14:30まで>>

「学校・家庭・地域の連携」に関わる研修会を開催しました

毎年実施している「学校・家庭・地域の連携」に関わる研修会を、8月28日(月)に大東市民センターにおいて開催しました。

講師として、明星大学教育学部の朝倉美由紀氏を、昨年に引き続きお招きし、「学校運営協議会制度をさらに進めるために」というテーマで講義をいただきました。子ども・学校・地域の今日的な課題、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進、学校運営協議会の段階に応じた工夫について、具体的に説明していただきました。

引き続き、地区ごとのグループに分かれて、「各コミュニティ・スクールの現状と熟議をどのように形にする予定か」「各コミュニティ・スクールの課題はどのようなことか」「解決の際に、子どもサポート委員会をはじめその他の組織とどのような連携をしていくとよいか」を視点に情報交換を行いました。

各学校と地域(各地区子どもサポート委員会、各学校運営協議会)より、たくさんの方々に参加していただき、充実した研修となりました。



各地区の活動の様子をお伝えします

「学校応援団活動」と「地域の特色を生かした活動」の紹介

霞ヶ関北地区 霞ヶ関北小授業公開パトロール

7月4日(火)の霞ヶ関北小学校の授業公開で、子どもサポート委員が受付の手伝いと校内パトロールを実施しました。



南古谷地区 子どもサミット～オンライン開催～

7月18日(火)に、「子どもサミット」をオンラインで実施しました。南古谷小、牛子小、南古谷中、東中、砂中の5校の代表の児童生徒が、各校の取組とふるさと学習について発表し、意見交換を行いました。子どもサポート委員も、南古谷小学校内の基地局から参加しました。



中央地区 Eye 愛こども教室

7月24日(月)～26日(水)の3日間、中央地区はじめての事業として実施しました。子どもたちは、自分のやりたい勉強をしたり、子どもサポート委員と楽しく遊んだりしました。



福原地区 夏休み勉強会

7月24日(月)、31日(月)に、福原公民館において、福原地域会議と共催で「夏休み勉強会」を開きました。8月10日(木)には、施設見学ツアー(グリーンツーリズム拠点施設、児童センターこどもの城)も実施しました。



芳野地区 寺子屋 芳野っ子

7月25日(火)、8月1日(火)に、芳野公民館において「寺子屋芳野っ子」が開かれました。4つの会場に分かれて、夏休みの課題に取り組みました。最後にお楽しみとして、魚釣りや輪投げ、スーパーボールすくい、かき氷で盛り上がりました。



大東地区 夏休み寺子屋大東教室

7月26日(水)、27日(木)に、大東公民館において「夏休み寺子屋大東教室」を開催しました。子どもサポート委員の方々が見守る中で、子どもたちは自発的に夏休みの課題に取り組みました。



中央地区 Eye 愛こども教室 (ポッチャ教室)

8月3日(木)に、「すくすくかわごえ」において、ポッチャ教室を開催しました。埼玉県ポッチャ協会の方を講師としてお招きして、子どもと大人と一緒にポッチャを楽しみました。



中央北地区 寺子屋教室

8月4日(金)、8日(火)に、寺子屋教室を実施しました。読書感想文、習字、図画、工作、学習の5つの会場に分かれて、夏休みの課題に取り組みました。



名細地区 万華鏡を作ろう!

8月4日(金)に、名細公民館において、万華鏡作りに取り組みました。子どもたちは、出来上がった万華鏡をのぞきながら、次々と形を変える美しい模様感激していました。



古谷地区 夏休み子ども自習室

8月7日(月)に、古谷公民館において、「夏休み子ども自習室」を開催しました。サポート委員の他に、東中学校美術部の生徒たちと顧問の先生も指導者として協力してくれました。



大東地区 大東地区子どもフェスティバル 2023

8月26日(土)に、大東市民センターにおいて「大東地区子どもフェスティバル 2023」を開催しました。バルーンアート、福祉体験、スーパーボールすくいやヨーヨー釣り、卓球、おもしろ実験室、国際交流、囲碁・将棋といったそれぞれのブースで、子どもたちが楽しい時間を過ごしました。



川鶴地区 親子で学ぶ防災デイキャンプー防災体験ー

9月2日(土)に、川越西小学校において「防災デイキャンプ」を開催しました。4つのグループに分かれて、AEDと胸骨圧迫(心臓マッサージ)、三角巾と担架、煙体験と水消火器、災害用給水井戸の体験をしました。その後、全員で、防災士の方のお話を聞きました。最後に、非常食を持ち帰り、自宅で試食しました。



霞ヶ関地区 霞ヶ関南小「サツマイモつる返し」

9月7日(木)に、5年生が、5月に植えたサツマイモのつる返しを行いました。子どもサポート委員が、交通安全確保とつる返しの手伝いを行いました。暑さに負けず、みんな一生懸命に取り組むことができました。なお、9月6日(水)に予定されていた1、2年生の「虫取り」は、延期となりました。



山田地区 あいぞめ体験教室

9月9日(土)に、山田公民館において「あいぞめ体験教室」を行いました。藍の葉を乾燥させて作った染料を使って、オリジナルのランチョンマットを作りました。7月の生葉を使った藍染めとはまた違った美しい染め上がりに、子どもたちは驚いていました。

